

NKオンリーワン通信

VOL.26

発行：新潟北高等学校

オンリーワンスクール推進
事業研究開発校として3年の研究が
終わりに近づいている。そんな中、今年も国際交流講演会
を同事業の一環として実施した。今号は、その内容について皆さん
に紹介することとしたい。



23121426

ちょっとその前に、実はね。今回の講師は、^{ファンファンケイ}房文慧敬和学園大学教授にお願いしていたのだが、前日の午後2時頃に敬和学園大学から電話が……。事務的な連絡の確認事項だろうと軽い気持ちで受話器を握ると、なんと房先生がインフルエンザで寝込んでおられるとのこと。私の頭の中はグルグル(@_@)そうした事情の中、急遽講師をお務めくださったのが、**敬和学園大学英語文化コミュニケーション学科教授のグレゴリー・グッドマーカー先生**であり、紙面を借りてお礼申し上げたい。

「英語で One Earth(地球は一つ)
:文化の多様性」 12月13日実施



グッドマーカー先生は、ニュージーランドの地図を示され、固定観念にとらわれないことの大切さを最初に教えていただいた。また、相手との距離を引き合いに出されて話をされた。(実際にモデルとなった生徒には感謝したい。)その後、

- ① 美しさとは？
 - ・容姿、目、足の大きさなど、各国においてその基準が異なること
- ② 結婚について
 - ・離婚に対する考え方、アフリカやアメリカ（イ

ンディオ)の一夫多妻制などの状況

③ 成人式を例にとった日本とアメリカの行事について

④ 習慣の違いについて(握手、あいさつ、キス)などを英語に時折日本語をまじえ、ス

ライドを駆使して精一杯の説明をしていただいた。また、時折生徒の皆に問いかけるたどたどしい???日本語に先生の人柄がうかがうことができました。



さて、古代中国の書物である『老子-第80章』（俗にいう「小国寡民」）や陶潜の『桃花源記』の一節に「鶏犬ノ声相聞コユ〜」とある。これは何（どのようなこと）の象徴と皆さんは考えますか？説は様々あると思いますが、「**平和**」の象徴と考えるのが一般的なようです。また、『晏子春秋』が出典となっている「羊頭狗肉（羊頭を掲げて狗肉を売る）」という故事成語がある。（意味不明な人はしっかり辞書を活用してくださいね。故事成語中の「狗」＝「犬」なのです。）んっ、いったいグッドマーカー先生の講演とどんな関係があるんだいと考えている皆さん、関係は大ありなんですよ。

先生は、④習慣の違いの中で、「食文化の違い」について話をされた。もう察しのいい皆さんならばお分かりだと思うが、中国古典を引き合いに出したのは、中国では昔から「犬」は食用だったということと言いたかったのです。もちろん「犬」だけではなく、鶏や羊も家畜、すなわち食用だということは日本でも同様ですが、「犬」の場合は……。



グッドマーカー先生は、何を言いたかったのでしょうかね。要は違いはあってもそれを尊重する姿勢の大切さ、そして分かり合うためにはコミュニケーションが重要で、そのツールとしての言語の活用を言いたかったのではなかろうか。

グッドマーカー先生!!「今度は日本語でOne Earth」になりましょうね。今回は本当にありがとうございました。

この広報は、新潟北高等学校ホームページ

http://www.niigataki-h.nein.ed.jp/gakkou/top_gakkou.htmlにも掲載しています。